

みんなで確認 もしもの備え 国見町防災訓練

国見防災訓練が9月13日、各地区の集会所と観月台文化センターで行われました。震度6強の地震を想定し、住民は声を掛け合いながら一次避難所へ避難しました。その後、アルファミの炊き出しやAED講習などを行いました。観月台文化センターでは、気象庁による防災講話や防災備品の展示も行われ、参加者は災害時の行動や日頃から備える大切さを学び、地域全体で防災意識を高めました。



防災講話を通して災害への備えを学ぶ参加者たち

みんなでつくる 事故のないまちへ 秋の交通安全運動出動式

秋の交通安全運動出動式が9月17日、道の駅国見あつかしの郷で行われ、交通安全関係団体などが参加しました。式では、交通事故のない安全・安心なまちを目指し、地域一丸となって交通安全に取り組む決意を新たにしました。式終了後には街頭啓発を行い、村上利通町長や交通安全協会部会員が来場者にチラシなどを配布し、交通ルールの順守と交通事故防止を呼びかけました。



来場者に交通安全を呼びかける村上町長

笑顔で迎える 百寿の節目 内閣総理大臣祝状・記念品伝達

今年度に100歳を迎える皆さんの長寿を祝うため、9月24日、村上利通町長が対象となる皆さんを訪問し、内閣総理大臣から贈られた祝状と記念品の銀杯を一人ひとりに手渡し、長寿を祝福しました。これまで長年にわたり地域や社会を支えてこられたことに敬意を表し、「これからも元気にお過ごしください。」と声をかけました。



村上町長から祝状などを受け取る佐藤ツルさん

収穫体験から農業への理解を深める くにみビジネス訓練所 えだまめ収穫体験

えだまめの収穫体験が9月27日、くにみビジネス訓練所で行われ、小学生以下の家族3組11人が参加しました。佐藤博志所長から収穫方法や枝豆について説明を受けた後、参加者は収穫に挑戦しました。大きく育った株を土から引き抜く作業に悪戦苦闘しながらも、協力して収穫を楽しみました。体験を通して収穫の喜びを味わい、農業への理解や関心を深める機会となりました。



枝豆の収穫に挑戦する参加者たち



園児からプレゼントを受け取り、微笑む祖父母

小さな手から、大きな「ありがとう」 くにみ幼稚園「祖父母参観」

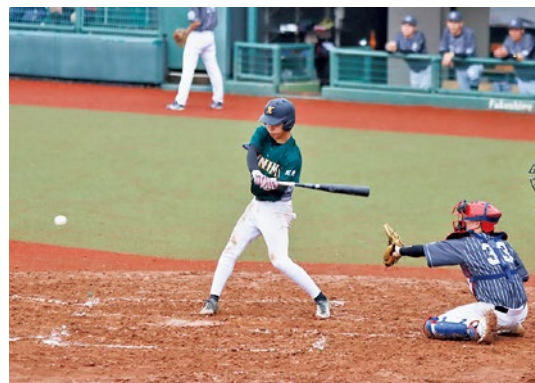
くにみ幼稚園の祖父母参観が9月2日、くにみ幼稚園で行われました。園児たちは、大好きなおじいちゃん、おばあちゃんへ日頃の感謝を込めて、元気いっぱいに歌を披露したほか、肩たたきをして交流を楽しみました。また、心を込めて手作りしたプレゼントを一人ひとりに手渡しました。プレゼントを受け取った祖父母はうれしそうに目を細め、園内は園児と祖父母の温かな笑顔に包まれていました。



「国見合戦」ライブペインティング

芸術・音楽・食が彩る 国見の2日間 盆地と里の芸術祭

盆地と里の芸術祭が9月5日、6日に観月台文化センターなどを会場に開催されました。参加アーティストによる作品展示やワークショップが行われ、町内外から多くの人が来場しました。5日の夕方にはライブステージも行われ、会場は大いに盛り上がりました。このほか、飲食ブースやくにみ農家の直売マルシェも並び、芸術・音楽・食を通して国見の魅力を楽しむ2日間となりました。



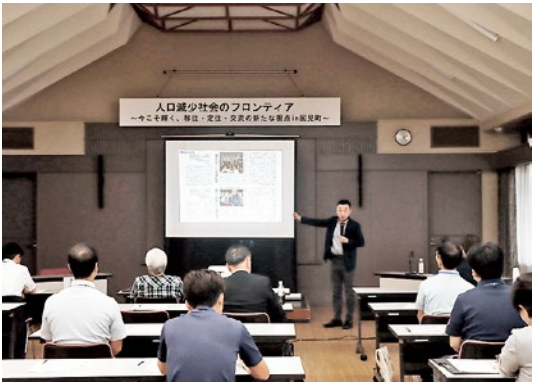
全員野球で流れを引き寄せる国見町チーム

雨中にみせた国見町の意地の3点 第20回市町村対抗福島県軟式野球大会

第20回市町村対抗福島県軟式野球大会の国見町チームの初戦が9月6日、福島市のあづま球場で行われました。雨の中、初回到11点を奪われる苦しい展開となりましたが、選手たちは最後まで諦めずに奮闘しました。5回には打線がつながり、チーム一丸となって3点を返す意地を見せました。試合は3対11で惜しくも敗れましたが、懸命にプレーした選手たちに、スタンドから大きな拍手が送られました。

人とのつながりから、地域の未来を考える 国見町×福島信用金庫連携事業 講演会

国見町と福島信用金庫の連携事業による講演会が9月8日、観月台文化センターで開催されました。ふるさと帰帰・移住交流推進機構副本部長の稲垣文彦氏が、移住・定住や関係人口をテーマに地域づくりについて講演。続いて、福島市地域おこし協力隊の南雲まりな氏が、地域の交流拠点づくりの活動事例を紹介しました。参加者はそれぞれの話に耳を傾け、人口減少社会における地域づくりへの理解を深めました。



人口減少や関係人口などをテーマに講演する稲垣氏